

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成31年 3月 15日

事業所名 障害児通所支援施設ちゅらハウス2号館

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			利用児のプログラムに合わせ居室を使用する。	車椅子の利用児が安心して移動できるほどのスペースづくり。
	2 職員の配置数は適切である		○		ハローワークへ募集をだしている。	今後の利用者に合わせ、有資格者などの人員配置を増やしていく。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○		出入口の段差にスノコで調整したり、トイレに手すりを設置している。	障害にあわせたバリアフリー化(設備)を整える
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している		○		ケース会議などを行っている。	会議を中心に行っているが、参加できない職員もいるので、全員が参加できる時間の設定などの工夫。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			毎年アンケートを実施し、保護者の意見などを聞くようにしている。	アンケート結果を、職員間で情報共有を徹底して行う
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○				ホームページ上で公開している。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○			スタッフ間で情報共有するようにしている。	
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			社内研修には全員参加するようにしている。	私用(事)により参加できない職員もいるため、全員が参加できる日時の設定など
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			利用児と保護者のニーズにずれがないようにする。	細かい情報までアセスメントを行う。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			常にスタッフ全員が読めるようにファイリングして保管している。	情報共有を行うとともに、ファイルをみる習慣をつける
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○			スタッフ全員の意見を聞くようにしている。	職員の出勤時間により参加できない事があるので、全員が立案に参加できるようにする
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			インターネットや本などから利用児が好むようなものを探している。	インターネットだけではなく、利用児本人からの聞き取りを行うようにする。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			その日の本人の状態を確認しながら行っている。	利用児の休みなど、前もって確認するが、当日になり休む場合の人数に合わせた設定環境。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	○			常に利用児の状況を把握する	偏らないように、組み合わせる。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している		○		業務開始前に、行うようにしている。	急な休みのスタッフがいた場合の対応を、事前に想定して行うこと
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		○		忘れないように、その都度、その場で情報共有し話し合いをしている。	業務終了時間にはばらつきがあるため、業務終了後ではなく、開始前などに行うなど改善が必要
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			記録の確認を最後に管理者が行っている。	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			月の会議等で利用者の状態を確認しながら行っている。	月1回の会議だけではなく、保護者や相談事業所からの情報をもとに行う必要がある
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	○			基本活動以外にも、利用児が楽しめる活動の取り入れも行っている		
20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			管理者が出席している。		
21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○			学校や保護者からの情報をもとに行う	学校と事業所間ではなく、保護者と事業所間の連絡を行うこと	
22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○			保護者から情報をいただくようにしている。	保護者だけではなく、主治医など医療関係者や相談支援員との連携を行う必要がある	

関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		互いに連絡を取り合っている	忘れる時、連絡が遅れる時があるので、確実に一度は確認の連絡を入れる
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		担当者会議を通して行うようにしている	担当者会議だけではなく、その後も各事業所との連絡を行うようにする
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		研修を受けるようにしている	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○	長期休みなどを利用している	週末の土曜日など開所日を利用するなど
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		月に1回管理者が参加している	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時間や、開所時、利用児が帰った後の時間を利用している	電話連絡などだけではなく、実際に合って話をさる場を設けるなど
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○		研修などに参加したり、職員の知識を高めてから、行いたい。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		総会や、保護者からの問い合わせがあった時に対応している	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		個人情報保護に基づき、管理者が中心となって行っている	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	保護者会総会を開いている。保護者とスタッフによる交流会を予定しているなど	保護者会総会だけではなく、他にも計画をたて交流する場を設置する必要がある
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		管理者が、その都度対応し再発防止に努める様にしている	気軽に話ができる雰囲気作りなどの環境設定
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		月に1回会議を行い、月始めには、お便りを発行している	
	35	個人情報に十分注意している	○		シュレッダーを使用したり鍵付きの引き出しに保管している	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		個々にあった伝達方法で行うようにしている	利用児からの伝達方法が成長と共に変化する時があるので、常に意識する
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	豊年祭などに参加している	次年度に取り入れていく
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○	保護者へブログや記録での発信はしている	マニュアル作成し、保護者を招いて周知する
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		毎月行っている	園外での想定訓練
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		職員全体による研修会を行っている	外部講師を呼んで行うなど
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		基本行わないが、計画作成時に説明を行っている	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		医師の指示書の提出を求める	
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		作成後、職員間、又は会議で議題にあげて	事故・ケガ発生時の職員の対応について勉強会が必要	

* 全スタッフ合同で、評価を行い集計した結果となります。